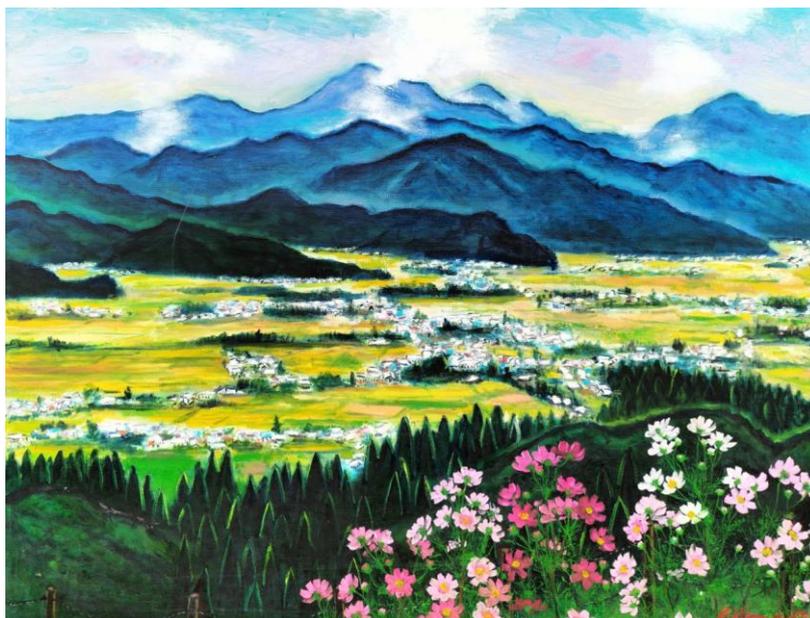


守門村の秋 F20 号



魚沼のコスモス F50 号

第1回「守門山紫水明展」は1992年8月、「はやかわ山紫水明美術展」終了後早川町から守門村へ大小約100点を運び込み、国宝・目黒邸の資料館1階展示室、2階大会議室、階段壁面を埋め尽す堂々の大展覧会となった。守門村民方々、観光客、近郷市町村の人々に驚きと感動を与えることが出来た事は大成功であった。

以来25年間にわたり、毎年1ヶ月余開催され地域文化の向上と目黒邸見学者に多くの恩恵を与えてきました。その後、山紫水明展は小出地区の印象派と交流、会員の個性溢れる多彩な表現の作品が飾られまして、地元愛好家・目黒邸来訪者に美の極地を提供し好評を得てきました。

しかし、山紫水明展も諸般の事情により、2015年の第25回展をもって終了となりました。展覧会のオープニングパーティーと片付けの最終日には、民宿「小西屋」さんで守門の方々を含めて楽しいパーティーを重ねてきました。地元のお酒「ゆきくら館」と美味しい「魚沼産こしひかり」のご飯は忘れられません。長年の守門の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。